

## ～搾乳ロボット牛舎へのお引越し～

令和2年4月17日、高山市久々野町で酪農を営んでいた武藤 康司さんが、飼育されてる乳牛等（搾乳牛；49頭、乾乳牛；8頭、子牛；2頭、ヤギ；1頭）と新たに建設した瑞浪市日吉町の新農場へ移転されました。

新農場は、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）を利用して、最新鋭の搾乳ロボット2台を擁した成牛収容規模150頭の大型酪農農場として設置され、今後は飼養規模まで増頭して行かれます。

搾乳ロボットの導入農場としては岐阜県下2番目で、各個体の乳量、乳質はもちろんのこと、ホルモン濃度等も測定することも出来、発情の予測等も可能ということです。

搾乳ロボットへの各搾乳牛の馴致（自分で搾乳ロボットへ入って搾乳されるようになること）も従来（高山市での飼育）からフリーバーン牛舎でのミルクングパーラー搾乳で有ったことも幸いし順調に進んでいるようで、引越後1週間足らずのうちにほぼ全ての牛が自ら搾乳ロボットに入るようになったとの事です。

また、武藤さんにお伺いすると、今回の引越については多くの関係者の皆さんにご協力いただき深く感謝されているとの事でしたが、特に臼田牧舎㈱の臼田代表には、引越準備の段階から高山市の農場での搾乳作業等に自ら何日も通っていただき、本当にお世話になったと強調されていました。

新型コロナ等の厳しい環境の中での出発ですが、今後の発展をお祈りするとともに、少しでもお役に立ちたいと思います。

### 新農場の概要

- ・牛舎：1棟（飼養頭数規模；搾乳牛120頭、乾乳牛30頭飼養）
- ・搾乳ロボット：2基
- ・飼料保管、調製倉庫：1棟
- ・堆肥舎：1棟
- ・污水处理装置：人工湿地1式



牛舎 外観・内部



搾乳ロボット



搾乳風景（牛が自分でロボットの搾乳エリアに入って自動的に搾乳されている）



飼料保管・調製倉庫



堆肥舎



汚水処理用人工湿地



人工湿地から望む牛舎